

教授就任に際して

ごあいさつ

藤野 修
平成9年学部卒

今年の4月に数学教室に着任しました。初めて京都大学に就職したのは2000年4月で、数理解析研究所の助手でした。当時はまだ国立大学だったので、由緒正しい国家公務員でした。その後、名古屋大学勤務を経て、2008年10月に数学教室の准教授として2度目の京都大学への就職。今回は大阪大学を経て京都大学への3回目の就職になります。5年ぶりに数学教室に復帰したことになります。現在私はこの5年間の京大の計算機環境の激変ぶりにかなり狼狽しております。

私は大学院生のころからずっと高次元代数多様体の双有理分類論を研究しています。大雑把に言うと、日本人フィールズ賞受賞者である小平、広中、森先生方の仕事の続きを考えています。小平の消滅定理の一般化を研究し、最近の広中の特異点解消定理の発展も利用しつつ、森理論の完成を目指すという贅沢な研究をしております。上記偉大な3人の先生方には遠く及びませんが、分野の発展に微力ながらも貢献しようと日々頑張っております。代数多様体の分類論は一昔前は日本のお家芸の一つだったと思うのですが、最近はこの分野も海外勢に押され気味です。優秀な京大の学生さんの中から高次元代数多様体の研究に興味を持つ人が現れることを望んでおります。

これからは自身の研究だけでなく、教育・後進の指導にも頑張っていきたいと思っております。京大数学教室の運営面に関しては分からないことだらけです。みなさまのご指導ご鞭撻をお願いいたします。みなさま、どうぞよろしく申し上げます。